



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 日本ドライケミカル株式会社
 コード番号 1909 URL <https://www.ndc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠山 榮一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 亀井 正文
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5815 - 5050

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,084	5.6	1,215	27.9	1,296	67.5	820	101.1
2022年3月期第2四半期	19,973	5.1	949	7.8	773	8.7	408	14.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,338百万円 (146.5%) 2022年3月期第2四半期 543百万円 (32.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	118.03	
2022年3月期第2四半期	58.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,414	21,601	42.1
2022年3月期	41,451	19,700	40.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 17,448百万円 2022年3月期 16,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.50		17.50	30.00
2023年3月期		12.50			
2023年3月期(予想)				17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	1.6	2,900	2.5	2,900	4.4	1,900	0.5	271.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,181,812 株	2022年3月期	7,181,812 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	280,647 株	2022年3月期	180,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,953,996 株	2022年3月期2Q	7,001,185 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、原油・資源価格の高騰や急激な円安の進行などにより、回復基調にあった経済活動、消費活動に影響を及ぼしました。また、世界的な金融引き締めが続くなかで、海外経済の下振れリスク、ウクライナ情勢の長期化などの懸念材料が重なり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する防災業界におきましても、原材料価格の高騰による業績への影響が懸念される状況にはありますが、防災・減災を目的とした公共事業や都市部の大規模再開発等による需要拡大への期待感は尚、継続しているように見受けられます。

このような経済状況のもと、当社グループは、引き続き自動火災報知設備から消火設備、消火器そして消防自動車までを広くカバーする総合防災企業としての立ち位置を更に強化しつつ、製品ラインナップの拡充を図り積極的な営業活動を推進してまいりました。また、各種防災設備の設計・施工、消火器及び消防自動車等の製造そしてそれらのメンテナンスを通じて、世の中に高度な安心・安全を提供し、より良質な社会インフラを構築するという社会的使命を果たすべく、グループ一丸となって注力しております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は21,084百万円(前年同期比1,111百万円増加)となりました。利益につきましては、営業利益1,215百万円(同265百万円増加)、経常利益1,296百万円(同522百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益820百万円(同412百万円増加)となりました。

当社グループは、各種防災設備の設計・施工・保守点検、消火器及び消火設備、消防自動車、自動火災報知設備の製造・販売、防災関連用品の仕入・販売等、幅広く防災にかかわる事業を行っており、単一セグメントであるため、業績については営業種目別に記載しております。なお、第1四半期連結累計期間より、組織再編に伴い、車輛事業は防災設備事業に含めて記載することといたしました。以下の前年同期比較につきましては、当該変更後の営業種目に基づいた数値を比較しております。

営業種目別の業績は、次のとおりであります。

① 防災設備事業

当第2四半期連結累計期間は、大型案件の工事進捗が進んだこと、消火設備用機器・製品の販売が好調だったこと等により、売上高は13,049百万円(前年同期比1,137百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、3,003百万円(同550百万円増加)となりました。

② メンテナンス事業

当第2四半期連結累計期間は、改修・補修工事件の一部が、機器等の供給不足により第3四半期以降へ期ずれしたこと等により、売上高は3,622百万円(同398百万円減少)となりました。売上総利益につきましては、1,269百万円(同163百万円減少)となりました。

③ 商品事業

当第2四半期連結累計期間は、機器類の販売および小型工事件の引き合いが好調だったこと等により、売上高4,413百万円(同372百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、577百万円(同75百万円増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、41,414百万円（前連結会計年度末比37百万円減少）となりました。

流動資産は、29,269百万円（同71百万円増加）となりました。主な内容は、受取手形、売掛金及び契約資産11,524百万円（同638百万円減少）、電子記録債権2,775百万円（同524百万円減少）、商品及び製品2,250百万円（同337百万円増加）、仕掛品1,462百万円（同312百万円増加）、原材料及び貯蔵品1,901百万円（同462百万円増加）、未成工事支出金461百万円（同130百万円増加）等であります。

固定資産は、12,145百万円（同108百万円減少）となりました。内容は、有形固定資産9,324百万円（同91百万円増加）、無形固定資産1,006百万円（同83百万円減少）、投資その他の資産1,815百万円（同116百万円減少）であります。

負債合計は、19,813百万円（同1,937百万円減少）となりました。

流動負債は、13,813百万円（同2,242百万円減少）となりました。主な内容は、支払手形、買掛金及び工事未払金4,764百万円（同808百万円減少）、電子記録債務2,605百万円（同292百万円減少）、短期借入金2,536百万円（同424百万円減少）、未払法人税等376百万円（同186百万円減少）、契約負債1,172百万円（同158百万円減少）、賞与引当金421百万円（同141百万円減少）等であります。

固定負債は、5,999百万円（同304百万円増加）となりました。主な内容は、長期借入金2,521百万円（同367百万円増加）、退職給付に係る負債990百万円（同48百万円増加）等であります。

純資産合計は、21,601百万円（同1,900百万円増加）となりました。主な内容は、資本剰余金3,023百万円（同28百万円増加）、配当金の支払122百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益820百万円を計上したことによる利益剰余金が13,582百万円（同698百万円増加）、その他有価証券評価差額金219百万円（同79百万円減少）、非支配株主持分4,153百万円（同1,276百万円増加）等であります。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は42.1%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、5,123百万円となり、前連結会計年度末から426百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、422百万円の支出（前年同期間は1,138百万円の収入）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益1,398百万円、売上債権の減少1,371百万円等であります。主な支出は、棚卸資産の増加953百万円、未成工事支出金の増加130百万円、契約負債の減少158百万円、仕入債務の減少1,208百万円、未払金の減少200百万円、法人税等の支払額580百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、409百万円の支出（同500百万円の支出）となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出463百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、334百万円の収入（同579百万円の支出）となりました。収入は、長期借入れによる収入700百万円等であります。主な支出は、短期借入金の減少493百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想値に修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,549,896	5,123,488
受取手形、売掛金及び契約資産	12,163,580	11,524,739
電子記録債権	3,300,414	2,775,656
商品及び製品	1,913,682	2,250,981
仕掛品	1,149,762	1,462,013
原材料及び貯蔵品	1,439,775	1,901,896
未成工事支出金	330,951	461,352
短期貸付金	3,053,561	3,048,451
その他	318,423	741,208
貸倒引当金	△22,378	△20,720
流動資産合計	29,197,667	29,269,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,907,681	6,236,615
減価償却累計額	△1,959,528	△2,050,065
建物及び構築物(純額)	3,948,152	4,186,550
その他	9,199,856	9,364,327
減価償却累計額	△3,915,513	△4,226,756
その他(純額)	5,284,343	5,137,570
有形固定資産合計	9,232,495	9,324,120
無形固定資産		
のれん	994,981	923,632
その他	95,390	82,893
無形固定資産合計	1,090,372	1,006,526
投資その他の資産	1,931,206	1,815,019
固定資産合計	12,254,074	12,145,666
資産合計	41,451,742	41,414,734
負債の部		
流動負債		
支払手形、買掛金及び工事未払金	5,573,531	4,764,759
電子記録債務	2,897,966	2,605,309
短期借入金	2,961,134	2,536,540
1年内返済予定の長期借入金	597,684	731,585
未払法人税等	562,914	376,901
契約負債	1,331,776	1,172,858
賞与引当金	563,020	421,040
役員賞与引当金	15,066	6,996
完成工事補償引当金	72,601	61,220
その他	1,480,799	1,136,777
流動負債合計	16,056,496	13,813,990
固定負債		
社債	1,675,383	1,727,731
長期借入金	2,153,265	2,521,214
役員退職慰労引当金	181,474	166,706
退職給付に係る負債	942,095	990,832
繰延税金負債	220,410	189,247
その他	521,836	403,615
固定負債合計	5,694,466	5,999,347
負債合計	21,750,962	19,813,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,549	700,549
資本剰余金	2,995,006	3,023,864
利益剰余金	12,884,651	13,582,891
自己株式	△256,908	△415,369
株主資本合計	16,323,299	16,891,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,564	219,492
為替換算調整勘定	84,307	245,026
退職給付に係る調整累計額	117,611	91,876
その他の包括利益累計額合計	500,482	556,395
非支配株主持分	2,876,997	4,153,064
純資産合計	19,700,779	21,601,395
負債純資産合計	41,451,742	41,414,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,973,174	21,084,675
売上原価	15,586,179	16,234,164
売上総利益	4,386,994	4,850,510
販売費及び一般管理費	3,437,013	3,635,173
営業利益	949,981	1,215,337
営業外収益		
受取利息	8,505	13,583
受取配当金	23,269	25,795
持分法による投資利益	—	4,130
受取保険金	10,161	3,246
新株予約権評価差額	—	53,921
その他	31,378	44,805
営業外収益合計	73,314	145,482
営業外費用		
支払利息	55,085	43,083
為替差損	66,388	8,545
持分法による投資損失	3,380	—
新株予約権評価差額	114,431	—
その他	10,113	12,837
営業外費用合計	249,399	64,467
経常利益	773,896	1,296,352
特別利益		
固定資産売却益	508	111,960
特別利益合計	508	111,960
特別損失		
固定資産除売却損	5,899	9,497
特別損失合計	5,899	9,497
税金等調整前四半期純利益	768,505	1,398,815
法人税、住民税及び事業税	348,939	399,866
法人税等調整額	△52,011	△9,723
法人税等合計	296,927	390,142
四半期純利益	471,577	1,008,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,494	187,911
親会社株主に帰属する四半期純利益	408,083	820,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	471,577	1,008,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,332	△79,072
為替換算調整勘定	83,369	434,724
退職給付に係る調整額	△5,466	△25,734
その他の包括利益合計	71,570	329,918
四半期包括利益	543,148	1,338,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,269	876,673
非支配株主に係る四半期包括利益	137,879	461,917

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	768,505	1,398,815
減価償却費	357,450	352,153
のれん償却額	91,253	91,651
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,319	7,079
賞与引当金の増減額(△は減少)	△174,465	△141,979
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,556	△8,069
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	906	△11,380
修繕引当金の増減額(△は減少)	△14,000	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,241	△14,768
固定資産除売却損益(△は益)	5,216	△102,462
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,371	30,187
受取利息及び受取配当金	△31,775	△39,378
支払利息	55,085	43,083
持分法による投資損益(△は益)	3,380	△4,130
売上債権の増減額(△は増加)	2,360,080	1,371,522
棚卸資産の増減額(△は増加)	△245,888	△953,127
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△252,158	△130,400
契約負債の増減額(△は減少)	△203,982	△158,918
仕入債務の増減額(△は減少)	△994,434	△1,208,785
未払金の増減額(△は減少)	△77,542	△200,656
未払消費税等の増減額(△は減少)	△126,497	△108,742
その他	92,383	△44,328
小計	1,649,894	167,363
利息及び配当金の受取額	23,831	30,655
利息の支払額	△54,989	△43,127
保険金の受取額	10,161	3,246
法人税等の支払額	△490,112	△580,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,138,785	△422,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△493,714	△463,726
有形固定資産の売却による収入	508	409,921
無形固定資産の取得による支出	△13,660	△3,540
保険積立金の積立による支出	△2,217	△3,655
保険積立金の解約による収入	246	1,487
敷金及び保証金の差入による支出	△794	△1,853
敷金及び保証金の回収による収入	149	166
その他	9,263	△348,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,219	△409,332

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△171,485	△493,270
長期借入れによる収入	829,900	700,000
長期借入金の返済による支出	△1,084,900	△290,000
リース債務の返済による支出	△9,341	△2,302
自己株式の取得による支出	△48	△158,461
配当金の支払額	△143,524	△122,520
非支配株主からの払込みによる収入	—	700,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,400	334,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,985	71,467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,151	△426,407
現金及び現金同等物の期首残高	4,516,905	5,549,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,589,057	5,123,488

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。